

■富士市中高生意識調査結果に対する感想

富士市議会議員 小池義治

富士市中高生意識調査を実施して下さった青年会議所の皆様、そしてご回答いただいた中高生の皆さんに心より感謝申し上げます。貴重なご意見の数々、大変興味深く拝見いたしました。

今回の調査結果から、富士市に対する中高生の皆さんの想いがひしひしと感じられました。特に、富士市を「好き」と回答された方が過半数を占めたという結果は、私自身も富士市で生まれ育った者として大変嬉しく、また今後の市政運営に対する大きな励みとなります。

一方で、「遊ぶところが少ない」「ショッピングモールがない」といった意見も数多く寄せられており、これは富士市が抱える課題の一つであることを改めて認識いたしました。これらの意見に対しては、単にショッピングモールを誘致するだけでなく、中高生が気軽に集まり、様々な活動ができるような公共施設や公園の整備など、より多角的な視点から検討を進めていく必要があります。

遊ぶところ（集えるところ）に関して、中高生の皆さんに、ぜひ期待して頂きたいのが、富士駅北口の再開発です。3年後には、富士駅北口が生まれ変わり、本が読めるカフェや、誰もが集えるスペースが誕生します。この新しい空間が、特に若者たちの交流の場となるように、皆さんの意見も参考にしながら、政策提案していきたいと思います。

「富士市の魅力だと思うもの」という設問では、「自然」「都会過ぎないこと」「東京みたいにキラキラしていないけど田舎過ぎなくてちょうど良い」というような回答がいくつかありました。そういった富士市の良さは、もっと全国にPRしていきたいと思います。実際に、そういった富士市の自然やちょうど良い田舎具合（人口密度の低さ）を気に入って、東京出身なのに富士市にIターン移住してくる人が増えてきています。ICT技術を活用することで、より多くの働き方を選択できるような時代になってきたので、これからますます、富士市に移住する人が増えればと思い、そういった移住定住の政策を提案していきます。

また、不満については、ごみ問題や製紙工場からの匂いなど、長年市民の皆さんが抱えている課題についても、今回の調査で改めてその深刻さが浮き彫りになりました。ごみ問題に関しては、行政だけでなく、市民一人ひとりがごみをポイ捨てせず、地域を美化する意識を持つことが重要です。製紙工場からの匂いについては、製紙業が富士市の経済を支えているという側面も踏まえつつ、環境への配慮を怠ることなく、より一層の対策を講じていく必要があります。

これからの時代は、中高生の皆さんをはじめとする若い世代が、まちの未来を創っていく主役です。今回の調査結果を参考に、市民の皆様とともに、より良い富士市を築いていきたいと考えています。

今回の調査にご協力いただいた皆様に重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。